

## 神による癒し

「夕方になると、人々は悪霊につかれた者を大ぜい、みもとに連れて来た。そこで、イエスはみことばをもって霊どもを追い出し、また病気の人々をみないやされた。これは、預言者イザヤを通して言われた事が成就するためであった。『彼が私たちのわずらいを身に引き受け、私たちの病を背負った。』」(マタイの福音書8:16-17)

### 神は人間に必要な癒しを備えておられる

(1) 病気と疾患(わずらい)の問題は罪と死の問題(人類が最初に神に逆らい背いた結果)と直接かかわっている(→創3:)。神の明らかな命令に従わなかったため最初の人間(アダムとエバ)は神とその完全なご計画から離れてしまった。ふたりの不従順によって苦しみと悲しみが世界に入り込み、その後の全人類の決断も影響を受けるようになった。医学では病気と疾患は生理学的、精神的、感情的条件に原因があると見ている。それらのものが健康に影響を及ぼすことは確かである。けれども聖書は問題の根源は次のような霊的原因にあると指摘している。(a) 罪—これは人間の霊的、肉体的全体像に影響を与えている(ヨハ5:5, 14)。(b) サタン—あらゆるかたちで人間に害を与えて滅ぼそうとする(使10:38, →マコ9:17, 20, 25, ルカ13:11, 使19:11-12, 黙12:9)。

(2) 人類の罪と神に対する反抗は痛み、滅びやそのほかの結果をもたらしたけれども、神はそれらにはるかにまさる自由、回復やそのほかの恩恵を御子イエスのいのちと犠牲を通して備えてくださった。神は罪に対しては赦しを(→マタ26:28, 使10:43, 13:38, コロ1:13-14)、死に対しては復活と永遠のいのちを(→マタ22:30, ヨハ3:15, 使4:2, ペリ3:11)、病気に対しては癒しを(→詩103:1-5, ルカ4:18, 5:17-26, ヤコ5:14-15)備えられた。したがって主イエスの地上での働きは次の三つの分野に集中していた。(a) 神のことばを教えること、(b) 罪深い道から立返って生涯をキリストにゆだね、神のご計画(罪の問題を取扱う)に従って神の国の祝福(神が願っておられる人生の目的を回復する)を受ける機会を伝えること、(c) 人々の中にあるあらゆる病気とわずらいを癒すこと(マタ4:23-24, →「キリストの伝道」の表 p.1937, 「キリストの奇蹟」の表 p.1942, 「使徒たちの奇蹟」の表 p.1941)。

### 神は癒したいと願っておられる

癒しについての神のみこころ(神の特性と人類の存在目的を反映する神の計画、願い、目的)は聖書の中では次の四つの方法で啓示されている。

(1) 神自らの宣告または宣言 出エジプト記15章26節で神はイスラエル人が神の契約(神の律法と約束に基づいた「終身協定」)と命令に忠実なら健康と癒しを与えると約束された(→出15:26注)。この宣言には、(a) 「わたしはエジプトに下したような病気を(さばきとして)何一つあなたの上には下さない」、(b) 「わたしは主(贖い主として)、あなたをいやす者である」という二つのことが含まれていた。神の民が祈りとみことばに従って心から神との深い関係を求めるときに、神は旧約聖書を通していつでも医者であり癒し主でいてくださった(→Ⅱ列20:5, 詩103:3)。

(2) 主イエスの働き 人のかたちをとった神の御子イエスは昔も今も神の特質と特性を現しておられる(ヘブ1:3, →コロ1:15, 2:9)。主イエスは地上の働きの中で(マタ4:23-24, 8:14-16, 9:35, 15:28, マコ1:32-34, 40-41, ルカ4:40, 使10:38)、神のみこころを行動で現された(ヨハ6:38, 14:10)。そして病気の人、悪霊に悩まされ抑圧されている人がみな癒されることが神の心であり、神の特性にかなっていることを実証された。

(3) キリストの贖いに含まれるもの 贖いはキリストの完全で罪のないいのちによって「罪をおおう」犠牲のことで、神に対する人間の罪の代価を十字架の死をもって払われたことを指す(イザ53:4-5, マタ8:



16-17, Iペテ2:24)。主イエスの死は全人(霊と心とからだ)を回復し完全な自由を与える上で十二分なものだった(→「人間性」の項 p.1100)。サタンは人間を滅ぼすための道具として罪と病気をを用いる。けれども神は私たちが神との関係を回復し霊的にも肉体的にも健全になるために罪の赦しと癒しを提供して下さる(→詩103:3, ヤコ5:14-16)。キリストに従う人々はキリストの死が提供するものをみな(からだの癒しを含めて)謙虚にそして忠実に祈り求め受入れるべきである(→イザ53:5)。

(4) **教会の継続する働き** 主イエスは十二弟子たちに神の国のメッセージを広める働き的一部分として、病人を癒すように任命(職務を与えそのために必要な権威を与えること)して力を与えられた(ルカ9:1-2, 6)。後には70人の忠実な弟子たちを同じことをするために派遣された(ルカ10:1, 8-9, 19)。主イエスが天に戻り聖霊が注がれ奉仕する力が弟子たちに与えられた後(→使2:), 初期の教会は主イエスのメッセージを広め続けた。そしてその働き的一部分として主イエスの癒しの働きを継続していった(使3:1-10, 4:30, 5:16, 8:7, 9:34, 14:8-10, 19:11-12, →マコ16:18, Iコリ12:9, 28, 30, ヤコ5:14-16)。新約聖書には神の癒しの力と信仰が教会を通して現され引継がれてきた方法が三つ記録されている。それは、(a) 神が癒してくださるといふ信仰をもって弟子たちがほかの人々に手を置くこと(マコ16:15-18, 使9:17)、(b) 病人が自覚している罪を告白した後、霊的指導者が油を塗って神が癒してくださると信じて祈ること(ヤコ5:14-16)、(c) 教会に与えられた御霊の癒しの賜物によること(Iコリ12:9)、である。

**癒しの妨げ**

神から癒しを受けるのに時々障害または妨げになるものがある。それは次のようなものである。

- (1) 罪を犯し続けて告白しないこと(ヤコ5:16)
- (2) 悪霊の影響または束縛を受けること(ルカ13:11-13)
- (3) 信じることは逆の、恐れや強い不安を持つこと(箴3:5-8, ペリ4:6-7)
- (4) 現在の信仰を邪魔する過去の失望した体験(マコ5:26, ヨハ5:5-7)
- (5) 神に近付かせないようにする人々(マコ10:48)
- (6) 真実ではない教え、または聖書に啓示されている神のことばとは違う教えを受入れること(マコ3:1-5, 7:13)
- (7) 癒しを必要としている人のために指導者たちが祈らないこと(マコ11:22-24, ヤコ5:14-16)
- (8) 教会が神の願っておられるように奇蹟と癒しの賜物を受けず用いないこと(使4:29-30, 6:8, 8:5-6, Iコリ12:9-10, 29-31, ヘブ2:4)
- (9) 不信仰と信仰不足(マコ6:3-6, 9:19, 23-24)
- (10) 自己中心的な行動(Iコリ11:29-30)。

ある場合には神を敬う人々の肉体的病気がなぜ癒されないのかははっきりわからない(ガラ4:13, Iテモ5:23, IIテモ4:20)。ある場合には困難な状況の中で神が働かれたり、愛する弟子たちを病気の中から天に連れて行かれたりする(→II列13:14)。けれども病気は必ずしもその人が罪を犯したり霊的に失敗したりした結果ではない。神に霊的に反抗し反対しているこの世界では問題や苦しみはだれにもやってくる。神を敬う良い人が苦しむこと理由 →「正しい人の苦しみ」の項 p.825

**癒されるためにすべきこと**

- 癒しを求めて神に祈り癒されるのを待つ間、何をしたらよいのだろうか。
- (1) 神やほかの人々との間に良い関係が保たれているかどうかを確認すること。罪を犯し続け人を赦さないで悪い態度を持ち続けるなら、神との関係にも影響して神のみこころと祝福を十分に体験することができない(マタ6:33, Iコリ11:27-30, ヤコ5:16, →ヨハ15:7注)。
  - (2) 必要な信仰を与えてくださる主イエスが心の中に臨在してくださるように求めること(ロマ12:3, Iコリ12:9, ペリ2:13, →マタ17:20注, 「効果的な祈り」の項 p.585)。こうすることによって神の臨在を生活の中で絶えずさらに強く感じることができるようになる。そのことによって信仰はさらに燃やされ、神に



